

いつも身近な存在でありたいと思っています

会宝通信 ~KAIHO Communication~

第246号

発行日 2022年6月1日発行

2022年 インド 「AKK factory」の開所式

皆さまこんにちは社長の近藤です。2019年の11月にインドのアビシェイクグループ（以下「ABC 社」）と合併会社アビシェイクケーカイホーリサイクラーズ（以下「AKK 社」）を設立しました。

そして5月10日に自動車リサイクル工場「AKK factory」の開所式を行い、250人以上の方にご参加いただき、私も現地に行ってきました。開所式ではグプタABCグループ会長、来賓にニティン・ガドカリ道路交通・高速道路大臣ならびに、マノハ・ラール・カッタールハリヤナ州首相をお迎えし、テープカットと工場見学を行いました。

グプタ会長は「持続可能な活動を実施し次世代の為に安全でクリーンな世界を創造することにより、広く社会に貢献することを信じています。これがAKK創業の原点です」と挨拶されました。

ニティン・ガドカリ道路交通・高速道路大臣からは「ABCグループと会宝産業を激励し、この産業が経済的で実行可能な産業であるという政策を人々に伝えるべく、特別に今日ここに来ていま

す。自動車リサイクルを通じて、新たな付加価値を生み出すことができ、インドにとって非常に重要なことです」とコメントをいただきました。

インドでは、廃車政策に伴いELVsの発生増加が予想され、環境に配慮したELVsの適正処理への対応が課題となっています。今後、インド全土で増え続けるELVsの適切な処理需要に応えるため、会宝産業は自動車リサイクル工場設備、生産工程、リサイクル技術・経営ノウハウの3点の技術を総合した自動車リサイクルシステムの提供を行います。

本工場の開所を皮切りに、インドにおいて使用済み自動車の環境配慮型リサイクル事業を展開し、今後3年以内にインド全土で7拠点の工場設置を目指していきます。



社内ゴルフコンペ 『 第6回 会宝チェアマンズカップ 』



こんにちは、会宝ゴルフ倶楽部の大倉です。今回は令和4年5月7日に行われた第6回チェアマンズカップについてご報告します。

★目的★

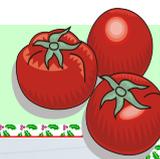
- ・社内の仲間と一体感を持って楽しみ、親睦を深める。
- ・ルールとマナーを修得し、人間力を身につける。

チェアマンズカップはコンペ（競技会）ですのでスコアや順位を競うことになるのですが、人によってはスムーズな運営をサポートしたり、教える人が上手な人は初心者に教えたり、それぞれの勉強の場にもなっています。また、社内であまり交流できない他部署の人と一緒にラウンドすることで普段見ることの出来ない一面を見ることも出来ました。今回2人の初参加者を含めて総勢20人で行いました！

今回のコンペはダブルペリア方式といわれるハンディキャップ込みの得点計算の方法で行いました。この方法だと単純な腕前でなく、運の要素も絡んでくるので最後まで誰が優勝なのかわからず毎回ドキドキしてしまいます。ちなみに今回の優勝も近藤会長でした。おめでとうございます！



農業の取り組み ～農業事業部より～



皆様こんにちは。5月は天候に恵まれ、人も植物も気持ちのいい日々が過ぎたのではないのでしょうか。私としては畝立てやマルチングなどの定植準備、定植後の水管理のことを考えると週1で雨が降ってくれたら嬉しかったのですが、残念ながら数回しか雨は降ってくれませんでした。遊びに行くなら晴れてほしいですが、農業をする身としてはもう少し雨が降ってくると助かります。

5月はいよいよ定植が始まりました。現在定植が済んでいるのはジャガイモ、ズッキーニ、キュウリ、サツマイモ、ヤーコン、オクラ、あとは一部のトマトです。残りは人参、ピーマン、ナス、大豆と残りのトマトとなります。定植準備も一部残っていますので、そちらを進めながら順に播種・定植をしていきます。

今年は色々と初挑戦なことが多く、試行錯誤しながら進めています。トマト以外を栽培するのも久しぶりで、これらの野菜がうまく成長していけるように誠心誠意栽培に取り組んでいきます。

（担当：畠中）

トマトはこちらの2つのサイトから
ご購入いただけます。





ナマステ！AKKインド駐在員の宮川です。インドへ渡航して約半年が過ぎ（去ってしまったという方が適切なのかもしれない…）、遂にインド工場の開所式を開くことができました！開所式前日までドタバタな日々でしたが、なんとか当日に間に合わせる事ができ、多くの方々に参加頂きました。いつもお世話になっている皆様、日本本社からの応援など、多くの方々のおかげで開所式を迎えられたと感謝の気持ちで一杯です。

参加者には、インド道路・交通・高速大臣、ハリアナ州首相、日本大使館大使館の皆様、マルチスキズCEO、JICA、JETROの皆様をはじめ、多くの方々に参加頂きました。

竣工式にご参加頂いた方の中には「宮川さんはマサラジュースの方ですよ？会宝通信読んでいますよ！」とお声がけを頂くなど、嬉しい限りのお言葉も頂きました！そして私のコラムを読んでもらっている方がいるのだと、改めて身が引き締まる思いで今月のコラムを書かせて頂いております・・・笑

交通大臣からは、自動車リサイクル事業は大きなポテンシャルを持った事業であり、環境問題、雇用創出にも大きなインパクトを与える事業であり、AKKを応援しますというお言葉も頂きました。

工場は無事完成しましたが、これからがビジネスとしての勝負です。開所式を機に気持ちを改め、インド全社一丸となって事業を推進して参ります！



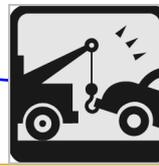
今月のパチリ☆



こんにちは。5月14日（土）に社員と家族総勢77名が参加して、定植祭（野菜の苗植え体験会）を行いました。これまで毎年5月に農業体験イベントとして田植えを行ってききましたが、今回は初めて定植祭を行いました。最初に農業事業部社員から土の掘り方や苗の植える向き、脇芽の取り方などのレクチャーを受けた後、実際にトマトやオクラ、ズッキーニなどの苗を植えました。農業や家庭菜園に関心はあるものの自己流で失敗した苦い経験のある社員も、農業事業部社員の手ほどきを受けて上手く植えられたことで自信がつき、もう一度家庭菜園に挑戦したいと言っていたのが印象的でした。また、参加した子供たちも土に触れたりダンゴムシを観察したりとそれぞれの「農業体験」を楽しんでいました。（担当：川村）



相場情報 ~生産部より~



2022年5月 見込み台数

入庫台数 750台

処理台数 800台

こんにちは。会宝産業の山口です。先月のインドに続き、今月はケニアのナイロビより発信させていただきます。赤道直下ですがナイロビは標高が高く、一年を通して気温も25℃前後と、非常に過ごしやすい気候です。

さて、相場はというと・・・ナイロビの気候のように安定してくれば良かったのですが、鉄に関しては月初より急落しました。これは、先月から続く中国のゼロコロナ政策によって物流が滞り、海外各国も鉄相場が高すぎる警戒感から、国際相場が一気に急落したと言われていています。日本も海外輸出相場が国内相場を牽引してきた結果、輸出相場の下落に引っ張られる形で国内相場も下落を続けております。

一方で、中国の一時的な政策との見方から、相場も再上昇するのでは？という見方もありますが、今のところは相場は下げの流れの見方の方が強いと感じます。

